

2泊3日のフィラデル
フィア修学旅行で学ぶ
NJ日本人学校6年生

STUDENT LIFE

週刊NY生活・アメリカの学校紹介と学生ライフのページ

ニュージャージー日本人学校

6年生が修学旅行

歴史や科学の歩み学ぶ

ニュージャージー日本人学校(岡村富広校長)の6年生は、8月30日から9月1日まで、2泊3日の修学旅行でペンシルベニア州フィラデルフィア市を訪れた。

今回は、児童が訪問先について調べ、旅行の計画を立てた。フィラデルフィアがアメリカの歴史上でどのような意味をもつ場所なのかを知り、「独立」について理

解を深めた。

初日は、100年以上の歴史あるリーディング・ターミナル・マーケットでの昼食から始まった。約10軒ある店のなかから自分が食べたいものを探して英語で注文した。その後、公園で一休みしてからシテイ・ホールへ向かった。ペンシルベニアという地名にも深く関わるウィリアム・ペンの銅像が塔の頂上にそび

えた。その足元まで上るツアーに参加した。高いところから見ると、道路がすべてシテイ・ホールを中心

に設計されていることが見て取れた。美術館では、所蔵作品のなかからそれぞれが「お気に入り」を見つけた。

2日目は、ヒストリック・ディストリクトと呼ばれる歴史的な建造物が密集したエリアを探索した。インディペンデンスホールでは、ガイドの説明を聞きながら学ぶことができた。造幣局ではお金づくりを見学し、米国憲法センターでは

現在の憲法についての話を聞いたりパネルを見たりしながら学習した。午後はベッツィー・ロス邸、エルフレス小径、インディペンデンス・シーポート博物館などを訪れた。

最終日はフランクリン・インスティテュートへと向かった。体験型の展示が多く、五感を通して学びが得られたようだ。また、科学が自分たちの生活を支え、発展させていることを感じ取っている児童もいた。

食事のメニューや見学地へのルートなど、あらゆることについて話し合い、意見が分かれた時もあったが、皆が納得できるように考えながら決めることができていた。また、自分で決めた施設を実際に見学することで、よりフィラデルフィアの歴史を深く学ぶことができた。

